

## グローバルgPBL: 持続可能な未来のための学際的イノベーション

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2026年02月26日 ～2026年03月05日	日本	ハノイ理科大学 フェニカ大学 明志科技大学 フィレンツェ大学 キングモンクット工科大学ト ンブリ枝 スリ・ラマサミー・メモリアル 大学	・(改組前)先進国際課程、情 報通信工学科、国際理工学 専攻、電気電子情報工学専 攻、情報工学科 ・学部1年生、学部2年生、学 部3年生、学部4年生、修士1 年生、修士2年生	(芝浦工業大学) 学生20名、学生バイト4名、教員12 名 (ハノイ理科大学) 学生6名、教員2名 (フェニカ大学) 学生3名 (明志科技大学) 学生5名、教員1名 (フィレンツェ大学) 学生9名、教員1名、職員2名 (キングモンクット工科大学ト ンブリ枝) 学生5名 (スリ・ラマサミー・メモリアル大学) 学生4名	SRIPIAN PEERAYA(先進国際 課程)、LAOHAKANGVALVIT T IPPORN(先進国際課程)、TROY ATO GABRIELE(先進国際課 程)、PAOLO MELE(先進国際課 程)、吉久保 肇子(先進国際課 程)、RAJAGOPALAN UMAMA HESWARI(先進国際課程)、BUJ NGOC TAM(先進国際課程)、シ プリ クムクムアハメド(先進国際課 程)、KLIMKOWICZ ALICJA(先 進国際課程)、SHAHROL BIN MOHAMADDAN(先進国際課 程)、パトハック サーク(先進国 際課程)、PHAN XUAN TAN(先 進国際課程)



図1 苅谷義治副学長 開会挨拶

gPBL 2026は、芝浦工業大学(SIT)豊洲キャンパスにおいて開催され、学生、教員、TAを含む約80名が参加しました。参加者は、6カ国7大学から集まり、国際的で多様な背景を持つメンバーによるプロジェクトベース学習(Project-Based Learning)プログラムとなりました。本プログラムは、異なる専門分野や文化的背景を持つ学生同士が協力しながら、実践的なプロジェクトに取り組む貴重な機会を提供しました。

プログラム期間中、学生は9つのグループに分かれ、各グループは6～7名で構成されました。それぞれのチームは、複数の分野の知識や視点を組み合わせたプロジェクトに取り組み、創造力、問題解決能力、そしてチームワークを発揮しました。1週間以上にわたり、学生たちは技術的な課題に取り組むだけでなく、さまざまな文化交流や交流活動にも積極的に参加しました。

具体的には、アイスブレイク活動、文化交流イベント、そして浴衣ワークショップなどが行われ、海外からの参加者にとって日本文化を体験する良い機会となりました。これらの活動を通して、参加者同士の交流が深まり、多くの友情や国際的つながりが生まれました。

gPBL 2026は、学術的な学びと文化交流の両面において非常に有意義なプログラムとなり、参加者全員にとって忘れられない貴重な経験となりました。



図2 学生 プロジェクト活動



図3 未来館 文化交流



図4 Cavallo教授 講義



図5 浴衣体験



図6 最終発表